

松戸市議会議長 末松裕人様

松戸市立病院の現状と新病院建設問題に関する情報市民に明らかにし、市民参加の病院建設が進められるための陳情

【陳情趣旨】

政府による医療費削減政策によって、医療をめぐる環境は劣悪の状況にあります。とりわけ公立病院の経営状況は、診療報酬の引き下げ、医師・看護師不足を始めとした諸要因が重なって、多くの病院が赤字経営に転落し、存亡の危機に陥っているとの情報を耳にします。

総務省は、このような公立病院の現状を踏まえて、一昨年12月、『公立病院改革ガイドライン』を公表し、今年3月までに各自治体に『公立病院の改革プラン』で経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直しを求めました。

医師不足等の理由で、昨年9月一杯で休止に追い込まれた銚子市立総合病院の顛末は、「松戸市立病院は大丈夫か」と市民に大きな不安を投げかけています。

松戸市立病院の現状はどうなっているのか。医師・看護師不足の現状は。休診している診療科目は。どのような『公立病院の改革プラン』を提出したのか。市民からはこのような疑問が出されています。

また、長年にわたって検討されてきた新病院建設の現状はどうなっているのか。2転3転をしながら、昨年12月定例会で紙敷土地区画整理地内の66街区（1.1ha）の購入問題が市長から提案され、議会での論議によって、付帯決議もつけられ「有力な候補地」として購入することがマスコミ情報として報道されました。

ところが、市立病院の現状や課題、新病院建設問題をめぐる動向などの情報は、行政からも議会からも市民に十分な情報提供がされたとは言えません。市立病院問題は、市民の安心・安全の立場からも、地域医療の拠点病院としても市政の重大問題だと考えます。結論が決まって、周知するだけの情報提供では、市民本位のまちづくりとは言えません。政策の形成過程、実施過程においても、市民に十分な情報を提供し、市民からの提案を受けながら、議会で検討し、決定されていくことが求められていると思います。

以上の立場から、下記の事項を陳情いたします。

【陳情項目】

1. 市立病院の経営状況をわかりやすい説明で明らかにしてください。

赤字経営の実態、医師・看護師不足問題、医療事故問題等々市立病院が抱えている実態の把握を踏まえ、どのような改善策を提案されてきていますか。
『公立病院改革ガイドライン』に基づく『松戸市立病院の改革プラン』（再建策）

をどのように評価されていますか。

2. 松戸市立病院建設問題をわかりやすい説明で明らかにしてください。
議会は、市立病院建設特別委員会を設置し、長年にわたって新病院のあり方、用地等を検討されてきたとのことです。取組み状況を紹介ください。
- 市長は、昨年9月定例会で、「市立病院の立替えは企業債等財源の目安が立たないので撤回・白紙に戻す」と断念表明。ところが、12月定例会では「紙敷土地区画整理事業地内の集合保留地66街区（1.1㌶）を建設用地としたい」と建設へ全面転換されました。この転換の原因を議会はどのように把握されていますか。
- 議会は、病院建設のための基本構想や基本計画も定まらない中で、現病院（1.4㌶）より狭くて、坪単価65万円とする高い用地購入を「有力な候補地」としながらも、なぜ承認されたのでしょうか。
- 新病院整備基本計画（案）が3月末に議会に説明されたとのことです。基本計画（案）に対して議会はどのように対応されているのでしょうか。
3. 議会は、市立病院が抱えている現状と新病院建設問題に関する的確な情報を市民に明らかにし、市民の要望を聞く機会・場を設定してください。

名 前	住 所

松戸市立病院問題を考える市民の会

連絡先 市民自治をめざす1000人の会
〒271-0092 松戸市松戸1879-24 ほくとビル5F
Tel & Fax 047-360-6064

署名取扱い団体名